

2021 第 1, 2, 3 RUTC 答えの現場 (37) (社)世界福音化伝道協会 www.wedarak.net		
2021 年 10 月 09 ~ 10 日 第 18 次世界軍宣教大会 (主題:最後の訓練時刻表) 週間祈りカード		
産業宣教 1 講 軍隊が行うべき人生編集 (民 14 : 1-10)	伝道学 2 講 軍隊が行うべき人生設計 (ヨシ 1 : 1-9)	核心要員訓練 3 講 軍隊が行うべき人生デザイン (ヨシ 10 : 10-14)
軍隊は最後の訓練時刻表であり、神様が私たちにくださった大きい機会 軍隊がしなければならない人生編集 軍生活黙想 (集)を通じて、次世代に創 1:27 (神のかたち)、創 2:7 (いのちの息)、創 2:1-18 (世界征服) 回復させることが軍宣教の第 1 使命 □序論_世界の急変によって生きるのが難しくなったということばは、答えではない。古くからずっと変化が起こってきたこと 1. モーセは少なくとも 100 年を操り上げて見た 2. モーセはわざわざ時代を見た 3. モーセを通して、イスラエルの刻印、根、体質を変える事を試みられた 出 3:15-20 刻印、根、体質になるようにしなさいということ □本論_この内容を知らない次世代が残っている 1. 誤った刻印を変えるために契約を刻印させるべき 1) 福音刻印 2) 三つの祭りを味わわせるべき (それを証明するのが契約の箱) 3) 軍生活黙想の集いが幕屋 (礼拝)、会見の天幕 (神殿)、天幕 (生活) 2. 軍隊と世の中は、ともすると自滅現場がなるので現場を変えることをすべき 1) 「乳と蜜が流れる地」-良いことは誰でも良いと見る 2) 「住民は強く、町は大きくて堅固、巨人が住んでいる。行くことはできない」-現場報告落胆 3) 「南方にはアマレク、ヘテ人、エブス人、エモリ山地がある」-環境の話 4) 「私たちは彼らに比べればいなごだ」-錯覚 5) 「その話を聞いて民が号泣した」-世論 3. カデシュ・バルネヤで、軍で人生編集が完全に起きるべき 1) 「ヨシュアとカレブが服を引き裂いた」-悔い改めの心 2) 「すばらしく良い地」-共通の話 3) 「主が与えられた地」 4) 「民が石で打とうとした」-現実 5) 「主の栄光が会見の天幕に」-契約を握るとき、主の栄光が臨む。だまされなければ良い。 □結論_古くからのサタンの戦略を完全にたたき壊すことが軍宣教の最も重要な戦略 1. 人中心の考え (創 3、6、11 章) 2. 惑わし (使 13、16、19 章) 3. 目を暗くさせること (未信者状態 6 つ) ただ福音のみことばで人生編集して、サタンの 12 の戦略を変えるべき	人生設計 救われたら祈りが何か分かるようにさせなければならない。 軍人の能力開発-「軍人の P-Time (Power Time)」が軍宣教の第 2 使命だ。 創 1:27、2:7、2:1-18 が生かされれば (救い) その後に御座の祝福、時空超越、237 の光が来るようになる。 □序論_実際の祈りが出てくるように創 1:27、2:7、2:1-18 をひとまず信じるべき 「神様の聖霊を私の心に受け入れる」-I コリ 12:13、ヨハ 20:22、創 2:7 祈りとは、神様がくださったその力 (創 1:27、2:7、2:1-18) を私たちの中に受け入れること 祈りとは、神様のその力 (御座、時空超越、237 の光) の中に入って世界を生かすこと 1. 24 幸せが祈り 2. 25 現場を見るのが祈り 3. 永遠のことを確認することが祈り □本論_ヨシ 1:1-9 (準備すること、今日、未来-祈る理由、祈りの実際) 1. 準備_この (序論) 祈りを味わわせるべき 1) 上から与えられる恵み (御座の祝福、時空超越、237 の光) 2) 私の中にある神様の恵み (創 1:27、2:7、2:1-18) 3) すべてが空前絶後の神様の答えとして 2. 今日 1) すでに与えられたこと (ヨシ 1:2 ヨルダン、1:3-5 すでに与えられた地) 2) 「強く、雄々しくあれ。おののいてはならない」 (ヨシ 1:6-8) 3) 「行く所どこにでも、あなたとともにいるからだ」 (ヨシ 1:9) 3. さらに重要な未来があるため 神様はヨシュアを連れて 1) ヨルダンを渡って 2) エリコと 3) エモリ連合軍を倒される ここには途方もない経済も含まれているが、戦争にすべて勝って世界福音化が起こった □結論 1. 朝の祈りのとき、力を受けて、いやされて、みことばを握る残りの者の祈り 2. 生活の中で出てくる巡礼者の祈り 3. 夜に神様の絶対計画を見つける征服者の祈り	[軍宣教で非対面ですべき三つのこと-3 つの今日] 「軍人が黙想をどのようにするか」(みことば)-人生編集 「実際に祈りが何であり、どのように力を備えるか」(祈り)-人生設計 「どのように伝道と証人になるのか」(伝道) -人生デザイン (神様がくださった私のこと-空前絶後のこと) □序論_聖書のすべての証人が受けた答えが空前絶後の答え 1. 問題が来た原因をはやく発見すべき 1) 当然-来るべきことが来たこと 2) 必然-なぜ今来たのかということ 3) 絶対-絶対が見えて、空前絶後の答えが見えて、軍宣教と全世界を福音化 2. 空前絶後の答えを見つける時刻表-空前絶後をいつも見つけるべき 1) 今日の空前絶後 2) 教会で空前絶後 3) そのために仕事をする 3. Remnant7 人が受けた答え-生涯に空前絶後の答えをくださった 黙想と祈り (力) で日頃、力を味わっていたヨシュアは、空前絶後の答えを見て味わった人 □本論_進退兩難の事件-伝道者には神様の絶対計画があるだけ 1. 実際の事実-私たちは絶対不可能だが神様の絶対計画なら絶対可能 1) 出エジプトの苦難 2) 荒野の苦難 3) 連合軍の出動 2. 現場事実-危機は空前絶後を成し遂げる機会 1) 雲を降らせて多くの軍隊を倒された神様 2) 夜 (危機) が来た 3) ヨシュアの二つの祈り (12 節) -身分的な祈り、権威を味わう祈り 3. 未来事実-今後残った問題はみな答えの旅路 1) 出エジプトは神様の計画 2) 荒野は神様の方法 3) カナンは神様の目標 □結論_神様が必ず必要にされることを今からすべき 1. 刻印を変えること-編集、みことば体験 2. 根を変えること-設計、祈り体験 3. 体質を変えること-デザイン、伝道体験 △神様の絶対計画である流れが出てくる (絶対の流れ)。これを握ることが真の体験 「ただ神様、ただキリスト、ただ聖霊と絶対計画」だけ祈れば、神の国が臨んで (25) 永遠が見えるが、それが空前絶後、絶対計画

2021 第 1, 2, 3 RUTC 答えの現場 (37) (社)世界福音化伝道協会 www.wedarak.net		
2021 年 10 月 09 ~ 10 日 第 18 次世界軍宣教大会 (主題:最後の訓練時刻表) 週間祈りカード		
聖日 1 部礼拝 4 講 国のために祈る時間」 (I サム 1:9-11)	Remnant 礼拝 ギデオン三百人の小心者 (士 7:5-8)	聖日 2 部礼拝/国内伝道委員会献身礼拝 伝道は神様の絶対計画の中で成し遂げられること (I サム 3:19)
□序論_国家のために本当に祈るならば働きが起きる 1. ヒゼキヤ王が国家のために祈り その夜に主の使いがアッシリヤ軍 18 万 5 千人を打つ働き 2. モーセのお母さんが国のために祈り 3. ハンナが答え受けられなかったが、ナジル人を祈った瞬間に答え □本論_軍の働き人とみなさんは軍と現場に宣教師として行く。24 祈りをすればよい。なぜか。 1. 国家のために祈る瞬間に一番最初にわざわいが崩れる △ハンナひとり国家のためにナジル人をくださいと祈った。どんな答えがきたか 1) 御座の祝福をもって働かれる残りの者の祈りが始まる答えを受けた 2) 時空超越する巡礼者の祈りが始まる答えを受けた 3) 空前絶後の征服者の祈りが始まる答えを受けた 2. 国家のために祈る瞬間に次世代が生かされる働きが起きる 1) ナジル人が生まれた 2) ナジル人は霊的な力を持って実力がある指導者 3) ナジル人サムエルがダビデのような軍人を育てた 3. 国家のために祈る瞬間に未来を生かすことが起きる △国家のために祈る彼女の祈りを聞かれ、わざわいを止めて次世代をくださった。ダビデのような人物を立てて、サムエルが生きている間にはペリシテが戦争を起こさなかったと聖書に記録 1) ヨセフが 13 年後のことを見て祈り △みなさんは年を取ったと考えずに後のことを今祈るべき 2) ヨケベデは 80 年後に息子が育って起きることを握って祈り 3) ハンナはサムエルがナジル人になって国家を生かすことを確かに信じて握った 4) エリヤ、エリシャ、オバデヤがどんな危機がきても契約を堅く握っていた 5) 捕虜として捕えられたシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは死の危機の前でも大胆 6) 初代教会はイスラエルとローマの滅亡、聖霊の満たしと力を受けて証人になることを知って、揺れなかった。 □結論_いまは国家と軍の働きのために祈るべき 1. 軍宣教を助ける教会がない。各教会が軍宣教費を定めるべき 2. 完全に空いている軍現場の青年たち-霊的問題をいやして、刻印されていることを変える最後の機会 3. 祈るこの力を回復すべき一国家のために祈るとき、神様は最も大きい答えを与えてくださる。大韓民国の暗やみが崩れるように祈るべき	△今日の本文はギデオンが 300 人の小心者を連れてミデヤンと戦った内容だ。士 7:2 (イスラエルが『自分の手で自分を救った』と言って、わたしに向かって誇るといけないから。) □序論_神様が世界的に用いられた RT △多くの RT が、私は背景もなく、勉強もできないと落胆する。神様は誰を用いられたのか 1. 何の背景もない奴隷を用いた 2. 捕虜 3. 属国 4. 神様が用いられたギデオンは木こりである 5. 神様は怖くなってぶるぶる震える 300 人の小心者を用いた □本論_神様が本当に大きく用いられた働き人 1. 強い者より弱い者を用いられた神様(世の中の背景で変化させられない。) 1) 聖書 66 巻の証拠-強大国エジプトが人を生かすことはできなかった。 2) 教会史の証拠-時代ごとに世界福音化した人は神様の力を持って世界を生かした。 3) 歴史の証拠-I コリ 1:18、神様は弱い者を選んで強い者はずかしめられた △マタ 13:11-15 →なぜイエス様はたとえて語られたのか。ある人はわかるように、また、ある人はわからないようにさせるためにたとえて語られた。 →神様は本当に重要な祝福は隠される。悪い人に奪われないように、本当の人に祝福を与えようと隠されたのだ。 2. 福音を持つ神様の霊の宿る者を用いられた 1) 奴隷として行ったヨセフを用いられた。 2) 養子モーセを呼んでエジプトをひっくり返された。 3) 孤児のようなサムエルを呼んで世の中をひっくり返された。 4) 羊飼いのダビデを呼んで世界を変えられた。 5) 農夫のエリシャを呼んで世界を変えられた。 6) 捕虜になった者を呼んで世の中を変えられた。 7) ガリラヤの人々と呼ばれた。 3. 神様のことで刻印、根、体質になった者を用いられた 1) 神様によって造られた私を見つけるとき答えがくる。 2) 神様から与えられたタラント、すなわち私のことが発見できるとき、働きが起きる。 3) 神様から与えられた私の現場が見えるとき、神様が答えられる証拠を握ることになる。 □結論_これをどのように探せるか? 1. 残りの者-24 (私は私たちの家系とこの時代を生かす残りの者だ。すべてを祈りに変えない。) 2. 巡礼者-25 (巡礼者。どんな環境も気を遣ってはならない。25! 苦しみがきても大丈夫だ。) 3. 神様のことで暗やみを征服する征服者-永遠	△伝道は神様の絶対計画の中にあることだ。この伝道だけ成り立つならば、すべての答えはみなついてくるようになっている。 □序論_伝道者の現住所で答えを味わっていれば、必ず過去、未来が見えるようになる。 △伝道者の霊的現住所 -I サム 3:19 (θの御声を聞いた霊的体験以後にサムエルのことばは一つも地に落ちなかった。) -みことばの流れ 創 13:18 →創 41:38 →出 3:10-20 →I サム 3:19 →I サム 16:13 →Ⅱ列 2:9 →イザ 6:1-13 →使 2:1-47 △過去-伝道者の重要な道 1. ナジル人の契約回復 2. 神殿で契約の箱のに横になって、ものすごいことを見るようになった 3. 神様の御声を聞くようになり、それが伝道者の重要な道になった。 △未来-サムエルが空前絶後の指導者として立つようになった 1. ミツバ運動-直ちに答えが目の前に見えなくても、答えはずっと来るようになることだ。 2. サムエルが生きている間には戦争がなかった。 3. サムエルが生きている間に多くの人々が神様に栄光をささげた。 □本論_伝道委員会はどんな祝福を先に受けるようになるのか 1. 伝道は霊的わざわいを止めること-I サム 3:19 1) I サム 4:1-10 伝道者ひとりが祈るとき、すべてのわざわいを止める働きが起きる。 2) 契約の箱を奪っていったペリシテ全域にわざわいが臨むようになる 3) 契約の箱の回復-イスラエルが再び契約の箱が戻ってくることになった。 2. 伝道は危機を止めること 1) ミツバ運動-イスラエル全体に危機を止めた。 2) イスラエルの民はすべての偶像を捨てようになった。 3) I サム 7:13 イスラエル全域に戦争が終わるようになった。すべての危機を止めたのだ。 3. 伝道はたましいを救われる神様の絶対計画 1) I サム 3:1-19 完全に神様のみことばが現れ始めた。 2) I サム 7:13 完全に戦争が終わった。 3) I サム 7:15 サムエルが生きている間、平和をもって国を治めた。 □結論_伝道は運命を変えること 1. 個人の運命が変わる。 2. 家系の運命が変わる。 3. 国の運命が変わる。-思わしくなかった大韓民国に福音が入ってきて、急速に発展するようになった。